
嬉しい

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

嬉しい

【Nコード】

N1155R

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

我が子の成長を書いた手記。

(前書き)

言葉では言い表せない。

『今日実美が初めて歩いた。立ち上がって三歩くらいだったけど、歩いて転けた。実美は泣かなかったが、その後は歩いてくれなかった。でも嬉しい』

『実美がママと言っていた。パパと言ってくれと頼んだが、いくらしゃべってもママだった。悔しいから、あれはマンマと言いたいのだと思つ事にした。でも嬉しい』

『今日は実美の入園式。他の子供達と一緒に幼稚園の先生に話し掛けられて楽しそうに「おはようございます！」「ありがとうございます！」「さようなら！」と挨拶の練習をしている。なんだか、手元から離れていってしまったみたいになつた。でも嬉しい』

『幼稚園の運動会でかけっこをしていた。ビデオカメラ越しにか観れないけれど、カメラに声が入ってしまうから何も言えないけれど、心の中で「頑張れ！頑張れ！」って応援していた。結果は、途中で転んでビリだったけれど、成長した我が子を見て嬉しいと思つた』

『今日は近くのホールで発表会。カスタネット片手に時々、タンタン叩いては大きな口を開けて歌っている。少し緊張しているのか真剣な表情だったが、パパはそんな実美を可愛いと思つた。ママはパパの横でずっと笑つてたよ。今日も嬉しかった』

『年長組に上がつて、少しは大人びた言葉を話すようになった。けれども、朝の「おはよう」と「行ってきます」が上手く言えないでも、そんな実美が可愛いと思つ。親バカかな？』

『春の遠足で、少し遠くの大きな公園まで歩いて行ってきたと嬉しそうに話す。大人でも、しんどいと思う距離を歩いてきたのか…。実美、よく頑張った!』

『幼稚園二回目の運動会。最後に小さな組体操を披露。ママに似て小柄な実美は、他の子の上に乗って決めポーズ。ママや他の家族は拍手喝采だったが、パパは落ちたらどうしようとヒヤヒヤしたよ』

『今日の晩御飯は芋御飯に薩摩汁。サツマイモ三昧だけど、実美が「私の取ってきたサツマイモ」と自慢気なので、秋の遠足の芋掘りの成果、美味しくいただきます』

『今日は卒園式。歌を歌ったり、卒園証書を貰ったりと忙しそうだったけど、最後の家族への花束贈呈の時、ママとパパの手をとって「一緒に」って言うてくれた時、泣きそうになったよ。実美、ありがとう』

『今度の四月から一年生だね。友達を沢山作って、沢山勉強をして、すすすす育って欲しいとママもパパも願ってるよ』

『今日も日記を書き終え、布団に入る。横には静かに寝息をたてる実美がいる。』

「おやすみ」

優しくそう言って、実美のおでこにキスをして私は眠りについた。

【ママもパパも実美の成長を見守る事がとても嬉しいんだよ】

(後書き)

まだまだ、子供時代は続くけど、実美はママとパパの大事な子供だよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1155r/>

嬉しい

2011年10月8日01時21分発行